



ご意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。



いただいたご意見



特別支援学校と一般校との交流の機会を作ってはどうか。障がい当事者の親との対話では、中学校までは一般校との交流の場が多かったが、高校生になると特別支援学校に通うため、一般校との交流の機会が少ない現状があると聞いた。交流をすることで障がいのある子どもたちの居場所を作ることにつながる。また私たちが障がいのある方に対してきる事が増える。

県の考え方

📩 :冥窺に尚けて取り組んでいきます 👉 :競に取り組んでいます 🔾 :今後、収組みをご考えるための参考にします



競に取り組んでいます



はんりっとくべつしえんがっこう こうとうがっこうとう こうりゅう こうりゅう にっしんこうりゅう かくがっこう からがっこう からがっこう たっぱり を名学校の 実情に応じて実施しております。今後も各学校が相互理解の観点から 交流及び行動学習として「学校間交流」に取り組んでいきます。





ご意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。





一般校と特別支援学校との交流には校内のバリアフリー設備を充実させる必要がある。そのための資金面の問題点を県がクラウドファンディングにより補うことはできないか。クラウドファンディングをすることで、障がいのある方との交流を積極的に促進していることを社会に広めることができると思う。

県の考え方

★ : 実現に尚けて取り組んでいきます 🌎 : 蕨に取り組んでいます 🔾 : 今後、収組みを*考えるための参考にします



っ後、取組みを考えるための参考にします



関立学校のバリアフリー設備を充実させていくことは重要です。関では、これまで車いす対応トイレの整備などに取組んできました。現在、学校施設の整備に必要な財源を確保するため、県税収入だけではなく、宝くじの収益金やふるさと納税(神奈川県まなびや基金)も活用しています。クラウドファンディングは、県の個別の取組を広く発信できるといった効果もありますので、今後の取組を考えるための参考とさせていただきます。



ご意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。

いただいたご意見



障害者支援施設の職員にも、嫌なことやストレスが溜まってしまうことが色々あると思う。職員のことを気遣わないといけないと思う。1つ1つの言語でストレスは溜まるので、職員のメンタルケアが大事である。

県の考えた

★: 実現に向けて載り組んでいきます ~ア: 既に載り組んでいます ②: 今後、散組みを*考えるための参考にします



既に取り組んでいます



障害者支援施設の職員の方に対するメンタルケアが大事なのはその通り だと思います。

まずは職員にとって働きやすい環境づくりのひとつとして、事業主がメンタルケアを実施する必要がありますが、県かながわ労働センターでは「働く人のメンタルヘルス相談」、厚生労働省では「働く人の『こころの耳科教』を実施していますので、悩みに応じて窓口をご案内していきます。





働く人のメンタルヘルス 静談



簡く炎の「こころの質精談」 (厚生労働省HP)

ふくし こ きょくふくしぶしょうがい かかんさ 福祉子どもみらい 局 福祉部 障 害 サービス課監査グループ TEL:045-210-4736



ご意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。



いただいたご意見



学生時代に習ってきた言語の教科は、国語や英語といった割と決まった 課程があるものである。コミュニケーションの幅が狭く、小さいころから 障がい者と触れ合う機会はあまりない。障がいのある方と一緒に過ごす だけではなく、県が憲章も踏まえて皆がコミュニケーションが必要だと いう意識を持つという空間を作った後に、言語の学習でもいいと思う。

県の考え方

눛 :冥镜に向けて敢り組んでいきます 👉 :競に敢り組んでいます 🔘 :今後、散組みを*考えるための参考にします



既に取り組んでいます



障がいのある方が身近で普通に生活しているのが当たり前な社会にしていくことが必要だと思います。神奈川県では、障がいがあってもなくても、誰もが一緒に交流をしたり、楽しむことができるイベントを行っており、今年は辻堂海浜公園での移動遊園地、鎌倉の由比ガ浜でのビーチクリーンのイベントを開催しました。さらに、メタバースで色々なひとたちが集まり、思いを話すイベントも行います。また、障がいのある方が県内の小学校、中学校、高校に行って、児童・生徒と交流できる出前授業の取組みを進めています。今後も障がいのある方との対話や交流の場を作っていきます。





「ともに生きる社会かながわ 憲章」ポータルサイト



当事者目線の障害福祉に関する学校出前講座 HP



ご意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。



いただいたご意見



インクルーシブ教育を導発したほうが良いと思う。障がいを持つ芳との差別が生まれてしまうのは、一緒にいる時間が今までなかったため、考え芳に差異が生まれてしまうのではないか。一緒にいる時間を作り関わっていくことでお互いの理解が深まっていくのではないか。

県の考え方

📩 : 実現に向けて取り組んでいきます 👉 : 競に取り組んでいます 🔾 : 今後、取組みを端えるための参考にします



実現に向けて取り組んでいきます



私たちもそう考えています。県では、すべての子どもが幼いうちから、同じ地域に住む仲間として、みんなが一緒に遊んだり、学校に入って一緒に勉強したりできるよう、インクルーシブ教育を進めています。これからどんな学校にしていけば、分からないことや困ったことがあっても、一緒に学んでいけるか、また、どうしたらみんなが行きたいと思う学校になるのか、場内の色々な人達と話し合っています。皆さんも話し合いに参加して、ぜひ意見を言ってください。



かんれんじょうほう **<関連情報>**





インクルーシブ教育推進課 HP







いただいたご意見



障がいのある方について知らないというところから生じる偏見は多くあると思う。対話や交流の場が大切になると思った。

県の考え方

★ : 実現に高けて敢り組んでいきます 👉 : 競に敢り組んでいます 🔾 : 今後、散組みを*考えるための参考にします



既に取り組んでいます



神奈川県では、障がいがあってもなくても、誰もが一緒に交流をしたり、
楽しむことができるイベントを行っており、今年は辻堂海浜公園での移動
遊園地、鎌倉の由比ガ浜でのビーチクリーンのイベントを開催しました。
らに、メタバースで色々なひとたちが集まり、思いを話すイベントも行います。また、障がいのある方が県内の小学校、中学校、高校に行って、児童・
生徒と交流できる出前授業の取組みを進めています。今後も障がい者と
の対話や交流の場を作っていきます。



かんれんじょうほう **<関連情報>**



「ともに生きる社会かながわ またしょう 憲章」ポータルサイト



当事者目線の障害福祉に関する 学校出前講座 HP



ご意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。



いただいたご意見



インクルーシブ教育は、一部の障がいが軽度な人しか受けられないのではないか。特別支援学校の方がいいという意見が多くある。インクルーシブ教育では平等に教育を受けられて、特別支援学校は公平に教育を受けられると思うので、どちらも並行できないか。

県の考え方

丈 :冥朔に向けて敢り組んでいきます 🕜 :競に敢り組んでいます 🔾 :今後、散組みをってえるための参考にします



こんご とり く かんが 今後、取組みを考えるための参考にします



とても大切な意見だと思います。これからの学校づくりに、特別支援学校の良さも地域の学校の良さも生かしていけるよう考えていきたいと思います。大切な事は、どの学校へ行っても、一人ひとりの予どもが大切にされ、学校でしか学べないことを学んでいくことだと思います。インクルーシブ教育は特定の誰かではなく全ての予どもを対象としています。皆さんにインクルーシブ教育について考えてもらえるよう、今後も取り組んでいきます。



かんれんじょうほう **<関連情報>**





インクルーシブ教育推進課 HP



ご意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。

いただいたご意見



ヤングケアラーにとって、子ども食堂は息抜きの場であったり、ご飯を食 べたり、情報共有の場であるため、大事な場所だと思う。サステナブルな 支援となるために、コンビニやレストラン、調理師学校などのコラボによっ て、字ども食堂を成り立たせるのがよいのではないか。

★:実現に向けて取り組んでいきます 👉: 競に取り組んでいます 🔾: 今後、取組みを*考えるための参考にします

う後、取組みを考えるための参考にします



うとも食堂は、任意団体や NPO法人、個人で運営しているケースが多く、 うんえいな 運営費などの確保が難しい状況にあります。県では、物品の提供やボラ ンティアなど子ども食堂のサポートを希望する企業・団体・個人の方々と がっどっだんたい 活動団体をつなぐ、コーディネート相談窓口の情報を提供するなどして、 子ども食堂が持続的な活動をできるよう支援しています。また、誰でも みぢか ちいき こ しょくどう きが けんない こ こそだり よいない ままま 身近な地域にある子ども食堂を探せるよう、県内の子ども・子育: じょうほう 情報サイト「子育て支援情報サービスかながわ」では、県内の子ども食堂 の情報を提供しています。いただいたご意見は今後の取組みを考えるた めの参考にしていきます。







育て支援情報サービス



「子ども食堂を利用したい・実施したい・応援したい」

こそだ 子育て支援情報サービスかながわ



ご意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。



いただいたご意見



ヤングケアラーの心の負担を減らすことができたらいい。たとえば、専門学校の観光系の学部とのコラボによる、ヤングケアラーの旅行企画や理容・美容学校とコラボして、ヤングケアラーや家族の美容モデルを募る取組、あん摩マッサージやリハビリ学校とコラボして、ヤングケアラーやその家族の疲労回復に繋がる取組が実施できないか。

県の考え方

★ : 実現に尚けて敢り組んでいきます 🏈 : 競に敢り組んでいます 🔾 : 今後、散組みを*考えるための参考にします



今後、取組みを考えるための参考にします



ヤングケアラーを支える色々な取組ができるとよいですね。

今、社会全体ではまだ、自分自身がヤングケアラーなんだといえる人は少なく、大人になってから、当時を振り返って、そうだったと気が付くことが多いようです。まずは、自分自身がそうなのかな?と気が付くことで、たとえそうであっても、周囲の大人に発信できる環境を作ることが必要だと思います。なお、県ではLINEや電話で気軽に相談できる窓口を設置しており、心の負担を減らすお手伝いをしています。



<関連情報> ヤングケアラーについての相談窓口



かながわヤングケアラー等相談LINE



でん わ そう だ

かながわケアラー電話相談 045-212-0581

 家族などのお世話、 かいこ かんびょう 介護や看病といった ケアのこと。 せいいっぱい。つらい。 だれかに聞いてほしい。 なんでも話してみて ください。



ご意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。

いただいたご意見



ヤングケアラーの問題点の大きな部分は教育だと思う。介護していることで、勉強時間が減ってしまう。睡眠不足から遅刻や欠席、早退が増え、勉強についていけなくて、首分の将来もうまくいかないという話を聞いた。なるべく、子ども達の勉強にあてられる時間が増えればいい。

操の 考え方

★ : 実現に高けて敢り組んでいきます 👉 : 競に敢り組んでいます 🔾 : 今後、取組みを*考えるための参考にします



今後、取組みを考えるための参考にします



ヤングケアラーの問題で、指摘されている点は非常に大切なことだと思います。

ヤングケアラーの状況にある人の情報を、大人が知り、その情報が行政機関につながることで、介護サービスなどが受けられるようになるなどヤングケアラーの負担が軽減され、勉強時間の確保にもつながると思います。周りにそのようなお友達がいる場合は、勇気がいるかもしれませんが、まずは周囲の大人に声を掛けてみてください。

(マラス く関連情報 >

覚が行っているヤングケアラーへの支援については、 若の慎HPを参考にしてください。





こいけん ご意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。



いただいたご意見



ゴミ問題の課題として、最終処分場(埋立地や焼却炉)が定りない事が挙げられる。フランスではゴミにマイクロチップを付けて、家庭ゴミの量に応じたお金を払うことになっている。台湾やシンガポールでも、ゴミの投棄や地下鉄での飲食で罰金を科し効果が出ている。やりすぎは良くないが、ある程度の取り締まりで自分事として捉え、危機感を持つことが大事ではないか。

県の考え方

★ : 実現に高けて敢り組んでいきます 👉 : 競に敢り組んでいます 🔾 : 今後、散組みを*考えるための参考にします



う後、取組みを考えるための参考にします



でいかなければならないと思います。県内でも、一部の市町村では、家庭から出たごみの量に応じてお金を払う仕組みをつくっています。また、県では、ごみの不法投棄などを防ぐため、パトロールや監視カメラの設置などを行っています。いただいたご意見も参考にして、今後もごみを減らしていく取組を行っていきます。







県HP:不法投棄等監視活動について



こいけん ご意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。



いただいたご意見



食品ロスの問題について、実際に世界の人口のうち 8億人が 1日の 食事量の目標に届いていないことに衝撃を受けた。ゴミ問題について は、まず知る事が重要である。関連するイベントに自ら参加したり、発信 する気持ちを持って意識的に取組んでいきたい。

the north north

★ :実現に高けて載り組んでいきます 👉 :競に載り組んでいます 🔾 : 斉後、散組みを*考えるための参考にします



こんご とり く かんが きん こう 今後、取組みを考えるための参考にします



「ゴミ問題については、まず知る事が重要である。」という視点は、その通りだと思います。 県では神奈川県食品ロス削減推進計画に基づき、食品ロス削減について県民や社会全体の興味・関心を高めるため、小売店や飲食店などと連携して「てまえどり」や「食べきり」など、食品ロス削減につながる取組の実践について呼びかけを行っています。いただいた意見を踏まえて、より多くの皆様に知っていただけるよう、さらなる情報発信に努めていきます。



<関連情報>



てまえどり



た。でででして口



巣HP: 後常ロス削減推進の散組について



ご意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。



いただいたご意見



自動販売機構にある吸い殻や空き缶が回収されていないことが問題だと感じる。ゴミがたまっている場所であれば、自分が捨ててもまぎれこむと考えて、ゴミが増えることがあるかもしれない。誰がゴミをここに捨てたのかという気づきから、ボランティア活動は始まる。みんなの気づきから、ゴミがたまっている場所を消滅できればよい。

県の考え方

★ : 実現に高けて敢り組んでいきます 👉 : 競に敢り組んでいます 🔾 : 今後、散組みを*考えるための参考にします



既に取り組んでいます



街中の自動販売機構のリサイクルボックスのごみも適正に回収されるべきだと考えます。県では、より多くの方々が関心を持ち、実践いただくことを 首的として「かながわクリーン運動」を展開し、県内各地でクリーン活動を 行っています。クリーン活動は、一般の方の参加が可能なものも多数あります。県HPや、LINE公式アカウント「かながわプラごみゼロ情報」により クリーン活動の情報発信を行っていますので、ご確認ください。



「ごみ出しルール」を守ろう





レッしんていきょう こうざい 写真提供:(公財)かながわ海岸美化財団



プラごみ削減に関するイベントやクリーン活動の情報など発信中!





こいまん ご意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。



いただいたご意見



海洋ゴミについて課題を感じている。マイクロプラスチックを食べた小さい意意を食べた大きい魚を人間が食べている。食物連鎖によって人間にも大きな影響が出ている。解決策として、現在使われているプラスチックは石油由来のものが多いが、植物由来や海藻由来にしていずれ溶けてなくなる製品が当たりたのでの中になれば海洋ゴミは減ると思う。打ち上げられた海藻を使い、ビニール袋を作り、その袋を使ってビーチクリーン活動をしている。個人で海藻由来のの袋を作るのは限界があり、力を貸して欲しい。

県の考え方

🛨 :実現に向けて取り組んでいきます 👉 : 競に取り組んでいます 🔾 : 今後、取組みを*考えるための参考にします



今後、取組みを考えるための参考にします



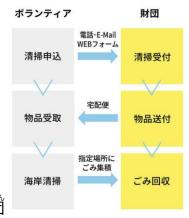
鎌倉市や海老名市など一部の首治体においては、バイオマス由来のごみ袋を家庭ごみの指定袋として導入するなど、バイオマス由来のごみ袋の普及啓発に取組んでいます。また、公益財団法人かながわ海岸美化財団では、海岸清掃ボランティアに対してごみ袋の提供を行っており、そのごみ袋の一部は生労解性素材などの環境に配慮した素材を使用しています。いただいたご意見も参考にして、引き続きプラごみ削減に努めていきます。



かいがん 海岸ボランティア募集



写真提供:(公財)かながわ海岸美化財団



公益財団法人かながわ

-チクリーン

の回収を無償

でサポートしま

ずいだん いっぽんれんらく 財団に一本連絡

すれば OK!

かいがんび かざいだん 海岸美化財団HP





ご意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。

いただいたご意覚



学校でSDGsの勉強をしたときに海洋ゴミについて興味を持った。海の近くのゴミだけでなく、山や街で捨てられたゴミが海に流れ込んでいる事が問題になっている。海にゴミがたくさんあることを首分の首で見たり、ビーチクリーンなどを体験する人が増える事が大切である。首分の小学校ではビーチクリーン活動を行っているが、近隣の小学校が参加してみんなでやる機会があるといい。

県の考え方

★ : 実現に尚けて敢り組んでいきます 🏈 : 競に敢り組んでいます 🔾 : 今後、散組みを*考えるための参考にします



既に取り組んでいます



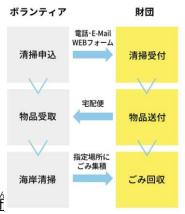
海岸のごみの約7割は、街中にあるごみが水の流れを通じて海に流出し、 かいがんできますが、 一次では、 古がみわんえんがんを対象とした海岸清掃ボランティアの募集を行っており、ごみ袋の提供や清掃道具の貸出し、ごみの回収を行っています。また、同財団では、学校や海岸などで海岸ごみについて学ぶ環境出前と、また、同財団では、学校や海岸などで海岸ごみについて学ぶ環境出前投業「学校キャラバン」を実施しています。詳しくは、公益財団法人かながわ海岸美化財団HPをご確認ください。

く関連情報>

かいがん 海岸ボランティア募集



写真提供:(公財)かながわ海岸美化財団



ビーチクリーン 後の しよう! ごみ袋の提供とごがでいる でサポートします。 前回 に一本連絡

ずいだん 財団に一本連絡 すれば OK!



↑公益財団法人か かいがんであった。 ながわ海岸美化 財団HP



ご意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。

いただいたご意見



お祭り等で発生するイベントゴミについて問題意識を持っている。地域のお祭りや観光地でのゴミ問題での対処は、お祭りを開催したり観光を進めるうえでの社会的責任である。地域のお祭りや観光地にゴミステーションを設置して分別指導員を導入してほしい。人員はボランティアや学園祭実行委員を募集すればよいと思う。

県の考え方

★ : 実現に高けて敢り組んでいきます 👉 : 競に敢り組んでいます 🔾 : 今後、散組みを*考えるための参考にします



う後、取組みを考えるための参考にします





かんれんじょうほう <関連情報>

3



海が似合う中さ化から、伝え化い。 はは、最高ははははましてガステラの名でもんのまつかのイラステックスがはってりました。 神の様では、「マララのものマーティ、としてきるか、これをなってっておりません。 リリイクを中点は、概要ではブラブかせつを目的します。



県HP:海岸や河川敷ではごみを 持ち帰りましょう!



ご意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。

いただいたご意見



観光客に対し、ゴミの分別や環境保護の重要性を伝えるポスターや動画を作成するとエコツーリズムを促進できると考える。自分は高校時代に 県庁と啓発動画を一緒に作って理解が深まった。環境学習の一環として、中高生が一緒に協働して作成するのも面白いと思う。

操の 考え方

★ : 実現に高けて敢り組んでいきます 👉 : 競に敢り組んでいます 🔾 : 今後、散組みを*考えるための参考にします



今後、取組みを考えるための参考にします



ポスターや動画の作成といった具体的な行動によって、環境をめぐる課題に対する理解が深まり、課題への取組が促進されるという視点は、その通りだと思います。

あらゆる立場の人々が自分事として環境問題をとらえ、みんなで取組を進めていけるよう今後の環境学習の取組を考えるための参考にします。



く関連情報>

神奈川県では県内で実施している環境関係のポスターコンクールなどの情報を県HPに掲載しています。





ご意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。





日本はプラスチックを使いすぎている。海外に比べて、環境を考えて 行動する事が生活の質を下げて我慢が必要だというイメージを持っている人が多いというデータがあるが、実際にプラスチックストローを使わない取組をしてみると、不便とは感じず、次に何に取組もうかと考えると楽しい。若者がやってみたいと思えるような、おしゃれさやカッコよさをSNSを通して発信すれば、皆の意識が変わるのではないか。

県の考え方

★ : 実現に向けて取り組んでいきます 👉 : 既に取り組んでいます 🔾 : 今後、取組みを *考えるための参考にします



今後、取組みを考えるための参考にします



県では、2018年に「かながわプラごみゼロ宣言」を発表し、2030年までのできるだけ早期に、リサイクルされずに廃棄されるプラごみゼロを首指しています。その取組の1つとして、LINE公式アカウント「かながわプラごみゼロ情報」による情報発信を行っています。いただいたご意見も参考にして、引き続き皆さんの意識を啓発できるような発信についても検討していきます。



<**関連情報**>

かながわプラごみゼロ宣言







ご意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。

いただいたご意覚



環境問題を教育に取り込んで、みんなの常識となればいい。先生の負担を増やさないで、専門家の話を聞くことができるように、県内の学校で必要とされる課題についてすぐに対応できる、講師のリストがあれば、実現しやすいのではないか。

県の考え方

★ : 実現に高けて敢り組んでいきます 👉 : 競に敢り組んでいます 🔾 : 今後、散組みを*考えるための参考にします



既に取り組んでいます



環境問題を教育に取り込んで、みんなの常識となればいい。本当にその 道りだと思います。近い未来にそうなるために、専門知識をもつ講師を 学校へ派遣して、体験型出前授業を実施しています。講師のリストも学校 へ送付し、あわせてHPへも掲載しています。学校の先生からも授業準備の 必要がなく専門的な授業ができ、また自身の勉強にもなると嬉しい意見 をいただいています。

(0,



海岸でマイクロプラスチックを採取



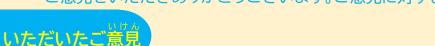
木の幹の大さを測定



原HP:かながわ環境 まないとしてときぼうこうほとう 教室実施希望校募集









子どもや若者の本当の意見が通る、誰でも参加できる子ども会議が出来れば、みんながやってみたくなる新しいアイデアができると思う。そこで生み出された案を大人の力で実現して欲しい。

県の考え芳

★ : 実現に高けて敢り組んでいきます 👉 : 競に敢り組んでいます 🔾 : 今後、散組みを*考えるための参考にします



既に取り組んでいます



子ども・若者の意見を関の取組に反映させる事を目的として、「みらい☆トーク」「みらい☆キャンバス」を実施しています。「みらい☆トーク」は社会 課題について話し合い、意見を関に伝えていただく取組です。「みらい☆キャンバス」は、オンラインプラットフォームを活用して意見を発信することができる取組です。場内に在住、在学、在勤の6歳から29歳までの芳ならどなたでも参加できます。ぜひ皆さんの意見を伝えてください。また、新たに皆さんの考えたアイデアを事業として県が実現していく取組「子ども・活者みらい提案実現プロジェクト」を実施中です。







(巣HP)「字どもの慧覚授鞅について」







いただいたご意見



海洋ゴミの問題をみんなが考えるようになるために、授業の一環として、地域で活動する大人と一緒に作業できるといい。逗子葉山では、ウニの駆除、ウニの堆肥化、キャベツウニ、ワカメの養殖、カキの養殖、アマモの苗の植付、サザエの稚貝放流など様々な問題に目を向けて取組む大人がたくさんいる。

県の考え芳

★ :実現に向けて取り組んでいきます 👉 : 競に取り組んでいます 🔾 : 今後、散組みを*考えるための参考にします



既に取り組んでいます



県では、環境美化について、より多くの方々が関心を持ち、実践していただくことを旨的として「かながわクリーン運動」を展開しています。クリーン活動は企業が実施しているものもありますが、一般の方の参加が可能な場合もありますので、原HPや、LINE公式アカウント「かながわプラごみゼロ情報」によりクリーン活動の情報発信を行っていますので、ご確認ください。



<関連情報>



プラごみ削減に関するイベントやクリーン活動の情報など発信中!





ご意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。

いただいたご意見



「小型電子機器の電子廃棄物は、有害物質や貴重な金属が含まれているため、適切な回収とリサイクル処理が必要である。日本は大型家電のリサイクル率は高いが、小型家電リサイクルについては認知度が低い。回収方法として、ステーション回収、ピップアップ回収などがあるが、ボックス回収の回収率が低い。県内でも回収ボックスが設置されていない自治体もあるので、鎌倉、小田原などで利用されているような、リサイクルによってポイントがたまるアプリ(まちのコイン)と連携して取組を進めるといいのではないか。市町村によって違いはあると思うが、リサイクル率が上がって素敵な神奈川県になればいい。

県の考えが

★:冥境に向けて取り組んでいきます 👉 : 競に取り組んでいます 📿: 今後、収組みをで考えるための参考にします



今後、取組みを考えるための参考にします



使用済みの小型家電は、お住いの自治体による回収のほか、家電量販店による店頭での回収、パソコンを含む場合は宅配便による回収という方法もありますので、インターネットでいろいろ調べてみるのもよいですね。また、ゲーム機をはじめ新しい小型家電を欲しいなと思うとき、本当に必要か、すぐ捨てることにならないかなど、よく考えてから購入することも大切です。いただいたご意見も参考にして、引き続きリサイクル率を高める取組を行っていきます。



かんれんじょうほう **<関連情報>**



ー般社団法人 小型家電リサイクル協会

Recycling of Small Waste Electrical and Electronic Equipment Association





ご意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。

いただいたご意見



ったPRの手伝いをしてくれると助かる。行政には意見を直接言いづら くても、身近な団体やサークルには参加しやすいため、活動を通じて課題 がいけつ こうけん 解決に貢献できる。

★ : 実現に尚けて敢り組んでいきます 〈♪ : 競に敢り組んでいます ② : 今後、散組みを*考えるための参考にします



既に取り組んでいます



がんきょうもんだい とりく かつどう ふく ちいき かだいかいけつ かつどう 環境問題に取組む活動を含め、地域の課題解決のために活動している がたがた かつどう ちぃき わたし ぎょうせい 方々の活動は、地域や私たち行政にとって大変重要なものです。 そこで、県ではそうした活動を「かながわボランタリー活動推進基金21」と いう制度により、主にお金の側面から支援しています。 この制度は、一般企業は対象外としていますが、ボランタリー団体等であ れば支援の対象となり、お金は活動のための費用であれば自由に使うこと

ができるので、活動の PR のためにお金を役立てている団体もあります。



「かながわボランタリー活動推進基金21」 ΗP

かながわボランタリー活動推進基金21

<3つの支援メニュー>

- ●協働事業負担金
 - けんのぶしょといっしょ。 県の部署と一緒に、問題解決をするための事業にかかる費用を補助しています。
- トボランタリー活動補助金 ᡑᡠ 新たにチャレンジする事業を行うための費用の半額を補助しています。
- ●ボランタリー活動奨励賞 臓がのモデルとなるような素晴らしい活動を表 彰します。 カール でょうしょうじょう かくしょう まんえん ぞうてい 知事からの表彰 状と、副賞30万円を贈呈しています。



いただいたご意覚



自分が小学生の時、給食の牛乳ストローを使うのをやめた。友人の 諸うりが、一支できょう 協力もあり、卒業までに1万本以上のストローゴミを削減できた。 鎌倉市に取組を発表して、鎌倉市の公立小中学校で100%バイオマスストローに変更する、という発表を聞いて嬉しかった。自分の取組を一人でも多くの人に知ってもらう事で、給食のストローのように当たり前のように渡されて疑問を持たずに使っていたものを、一度立ち止まって考えるきっかけになればよいと思った。

県の考え芳

★:冥境に尚けて敢り組んでいきます : 競に敢り組んでいます ◇ : 今後、散組みを*考えるための参考にします



既に取り組んでいます



みなさんの取組んでいる事や考えを発信していただく事で、県や市町村の を対象を動かすきっかけになると思います。県では、県内に在住、在学、在勤 の 6歳から 29歳までの方を対象に、オンラインプラットフォームを活用して で意見を発信することができる取組、「みらい☆キャンバス」を実施しています。テーマに対する意見を募集する「掲示板」と、自由に意見を投稿できる「意見箱」があります。ぜひ参加してください。







みらい☆キャンバス HP



ご意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。

いただいたご意見



「SDGsに取組んでいる」と掲げていても、実際には行動していないケースはたくさんある。SDGs活動をしたいが何をしたらいいか分からない、という声もあるが、水筒やエコバックを持参する、ストローを使わない、水を出しっぱなしにしない、物や人を大事にするといった活動もその取組みの1つである。活動は意識する事から始まるので、簡単に始められるものから取組むようにすればよいと思う。

県の考え方

★ : 実現に向けて載り組んでいきます 👉 : 競に載り組んでいます 🔾 : 今後、収組みをできえるための参考にします



既に取り組んでいます



ご意見のとおり、「SDGs の活動は意識する事から始まる」と言えます。 関では、冊子やリーフレットを作成するとともに、イベントを開催するなどにより、一人ひとりができる取組みについて普及啓発を行ってきました。また、家庭や企業で使い切れない食品を持ち寄り、フードバンク等に寄附することで、食べ物を必要とする人に届ける「フードドライブ」の活動も応援しています。



私 たち 一人ひとりの 行 動 が、 未 来 に つ な が る。

SDGs 未来都市 神奈川県







ご意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。

いただいたご意見



日本は災害大国であるが、災害に強い建物を作ったり、ハザードマップを確認したり、非常食を準備していたとしても、声を掛けられる事が無く、置いていかれる事で命を落とす人もいる。SDGs目標の11番目のゴールである、持続可能なまちづくりに繋がるよう、地域でのつながりは重要だと思う。地元のお祭りに参加したり、子ども食堂に関わったり、環境ボランティア活動に参加するなど、地域とつながる事で、持続可能な社会となる。積極的にイベントに参加する事で、社会への帰属意識が芽生え、自分の行動が社会に与える影響を考えるきっかけとなると思う。

県の考え方

★: 実現に向けて取り組んでいきます <a>テ: 前に取り組んでいます <a>テ: 今後、収組みを増えるための参考にします。



既に取り組んでいます



「地域でのつながり」は重要と認識しており、コミュニティ活性化のため

しちょうそん れんけい とりくみ すいしん
市町村と連携し取組を推進しています。







いただいたご意見



神奈川県には、いくつかの活断層があり、地震の多い県であるが、防災力ランキングは全国11位であり、順位が低い。大切な家族、家、友達が助かるように、家の耐震化に対し、補助金を出して欲しい。揺れに強い家を増やしていく事が大事だと思う。

県の考えた



既に取り組んでいます



いつ起こるかわからない地震から自分や家族の身を守るためには、まずじぶんの家が安全かどうかを知ることがとても大切です。

そこで、神奈川県では、「市町村地域防災力強化事業費補助金」により、
けかかんの皆様へ耐震診断や耐震改修の補助を行う市町村に対して、補助の
いちぶを負担する形(県民への間接補助)で住宅の耐震化を促進していま
す。引き続き、市町村が行っている家の耐震化の取組について、強力な
しまえん
支援をしていきます。

10

かんれんじょうほう **<関連情報>**

『市町村地域防災力強化事業費補助金』では、住宅の耐震化以外にも、

つなみたいさく じしん ふうすいがいたいさく しちょうそん おこな じじょ きょうじょ こういきてき たいおう はか **津波対策や地震・風水害対策など市町村が行う自助・共助・広域的な対応を図るた** さまざま とりくみ たい ざいせいしえん おこな あの様々な取組 に対して財政支援を行っています。

【耐震化に関する県HP はこちら】

(市町村により補助上限が異なりますので、詳しくはお住いの耐震化担当窓口にお問合せください。)





ご意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。

いただいたご意見



災害時の避難所となっているところは、学校の体育館が多く、避難してくる高齢者や幼児が快適に過ごせるような整備が必要だと思う。体育館の個室トイレを増やしたり、綺麗なトイレにしたり、エアコンの設置をして欲しい。

県の考えた



既に取り組んでいます



はいっかっこう たいいくかん 県立学校の体育館のトイレは、「新まなびや計画」という計画により建物の かいしゅうこうじ おこな さい まわ 改修工事を行う際に併せて整備しています。

また県立学校の体育館へのエアコンは、特別支援学校において整備を進めています。高校は、体育館自体が非常に広く冷えにくいなど課題が多いため、気化式冷風機等を導入しています。

なお、主に避難所に指定されている公立小・中学校の施設整備は市町村が行っており、県としては、小・中学校の体育館へのエアコン設置の推進等について、市町村に周知しています。





ご意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。

いただいたご意見



神奈川県には、津波災害警戒区域がある。地域の人の命が助かるようするために、津波避難タワーを作って欲しい。

県の考え方

★ : 実現に尚けて取り組んでいきます 〈テ : 競に取り組んでいます 〉 : 今後、散組みを*考えるための参考にします



今後、取組みを考えるための参考にします



県は、関係する市町と協力して、津波災害警戒区域の指定に取組んでいます。また、津波避難タワーの設置については、市町が設置する場合は、設置費用の一部を県が負担するなどといった支援を行い、津波避難タワーの設置を促しています。



ご意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。



いただいたご意見



子ども用の、防災マップや防災パンフレットを作って欲しい。子どもたちが 防災に難様を持ち、いざという時に行動できるようになると思う。地域 防災訓練などに参加したり、家でも防災について話し合っていきたい。

県の考え方

★:冥境に高けて取り組んでいきます (ア:厩に取り組んでいます (又):今後、散組みをが考えるための参考にします



こんご とり く かんが 今後、取組みを考えるための参考にします



県では、県内の小学4年生全員に「かながわキッズぼうさいカード」を毎年配布しています。名刺サイズまで折りたため、防災備品のチェックリストなど、防災に役立つ情報が書かれています。ご要望の際は危機管理防災課金画グループまでご連絡ください(在庫に限りがありますので、ご希望に添えない可能性があります)。県HPから画像をダウンロードして印刷することも可能です。防災マップについては、ハザードマップを作成している。市町村に情報共有させていただきます。









かながわキッズぼうさいカード

<mark>かながわけんみん</mark>防災カード





ご意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。

いただいたご意見



神奈川県には、農家の人口減少や耕作放棄地の拡大の課題があると思う。県が耕作放棄地を活用するために行っている、ホームファーマー事業をSNSなどで発信してはどうか。農業体験を通して、農業をやってみようと思う人が増えるようになると思う。

県の考え方

★: 実現に尚けて敢り組んでいきます →: 競に敢り組んでいます ◇: 今後、散組みを"考えるための参考にします



既に取り組んでいます



かながわホームファーマー事業は、毎年1月から2月にかけて体験研修生 (=ホームファーマー農園利用者)の募集を行っています。募集期間の 開始となる1月には、かながわキンタロウ Facebook等SNS での発信 を行っております。

今後もかながわホームファーマー事業の情報を掲載できる SNS があれば、現在利用している SNS以外でも積極的に情報発信をしていきたいと思います。



ご意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。

いただいたご意覚



神奈川県は、県全体では人口が増えているが、県西地域や三浦市域では 人口が減少している。人口が減少している地域へのアクセスを良くし、 就職先を増やす取組が必要だと思う。

県の考え芳

★:実現に向けて取り組んでいきます 🎤:競に取り組んでいます 🔾:今後、取組みを選えるための参考にします



既に取り組んでいます

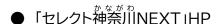


関では、企業誘致施策「セレクト神奈川NEXT」により、県西地域と横須賀 かっらちいきにがない 三浦地域に限定した支援メニューを設けるなど、国内外からの企業誘致に 取組んでいます。

また、県西地域や三浦市域などの地域へのアクセスを良くするため、 じどうしゃせんようどうる せつぞく 自動車専用道路に接続する幹線道路の整備などに取組んでいます。



かんれんじょうほう **<関連情報>**





● 神奈川県県土整備局道路部道路企画課のHP

神奈川県内の道路の実施計画である「改定・かながわの みちづくり計画」は次の HP でご覧になれます。











いただいたご意見



60歳以上の方を対象に、スポーツイベントを行ってはどうか。運動不足により体力・筋力が低下し、生活習慣病になるリスクが上がる。近隣には運動不足を解消できそうなスポーツ施設は沢山あるが、運動するタイミングやきっかけづくりが大切だと思う。

県の考え方

★:実現に向けて敢り組んでいきます 👉 : 競に敢り組んでいます 🔾 : 今後、取組みを*考えるための参考にします



既に取り組んでいます



県では、60歳以上の方を対象として、かながわシニアスポーツフェスタを 行っています。

このイベントは、高齢者の日ごろの健康づくりとスポーツ活動等の成果を はっぴょう きかい 発表する機会をつくるとともに、高齢者の社会参加や健康・生きがいづくり を支援することを目的としています。

う年度は卓球やサッカー、テニスなどのスポーツ種目、囲碁や将棋などの ぶんかしゅもく ぜん しゅもく じっしょてい 文化種目の全36種目を実施予定です。

こんで 今後もより多くの方に参加いただけるよう、周知などに努めていきます。

Q

<関連情報>

<かながわシニアスポーツフェスタ 2024 の開催について>



各種首の開催日時や会場等を記載しています。 過去の実施内容についても掲載しております のでぜひご覧ください。

隙HP:かながわシニアスポーツフェスタ 2024を開催します!



ご意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。



いただいたご意見



がんの死者はとても多く、神奈川県の総死亡者の3分の1を占めている 事が分かった。がんの早期発見、早期治療のために、がん検診ができる 場所を増やしたり、がんのリスクを減らすための対策について、病院など にポスターを掲示すると良いと思う。

けんの 考え方

★ : 実現に高けて敢り組んでいきます 🏈 : 競に敢り組んでいます 🔾 : 今後、散組みを*考えるための参考にします



既に取り組んでいます



がん検診を受けられる場所を増やしたり、ポスターなどで呼び掛けることは大切な取組だと思います。県では、リーフレットやイベントを通じて、がん
対がの大切さを広く伝える取組を行っています。また、乳がんについては、NPO法人と協働し、ショッピングモールやスポーツイベントなどで検診を受けられる取組を行っています。

県民の皆さんが関心を持って、がん検診を受けることも大切です。ぜひおうちの人とがん検診について話してみてください。





県HP:がん検診問合せ先

がん検診リーフレット



覧がん MAP







ご<mark>意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。</mark>

いただいたご意見



神奈川県には、オーバーツーリズムの問題がある。観光地を予約制にして、混雑の調整ができないだろうか。

県の考え芳

★:実現に向けて敢り組んでいきます 👉: 競に敢り組んでいます 🔾: 今後、取組みをってえるための参考にします



ったことりく 今後、取組みを考えるための参考にします



観光地の混雑解消のため、観光地を予約制にすることは、1つの解決策として考えられます。一方、予約制にすると、訪れたいと思っている人が来れない可能性があり、慎重な検討が必要と思います。いただいた意見は、今後取組を考えるための参考にします。





ご意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。

いただいたご意見



外国人観光客による、ゴミのポイ捨てが問題になっている。観光客が出したごみの処理費用の一部を観光客に負担してもらうのはどうか。観光字のアンケートによると、「外国人旅行客が、旅行先で困ったこと」として「ゴミ箱の少なさ」が第1位の回答だったというデータがある。外国人に限らず、観光客は捨てる場所に困っているのではないかと思った。旅行者に「ゴミを持ち帰る」だけでなく、「お金を払い、観光地でゴミを処分してもらう」というアイデアも良いのではないか。

県の考え方

★ :実現に向けて取り組んでいきます
: 三くでは、
: ※
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・

・

<



今後、取組みを考えるための参考にします



提案いただいたように、観光客や旅行者にゴミを持ち帰ってもらうだけでなく、ゴミの処分費用を負担してもらうことができれば、私たちの生活する環境の美観を保つことに役立つと思います。一方、市町村において観光客だけを区別し、どのような形でごみ処理費用を負担してもらうのか、難しい課題もあります。

いただいた意見は、今後取組を考えるための参考にします。







いただいたご意見



神奈川県には、観光地が点在しており、道路が混雑している。道路を新しく建設し、観光地付近の警備員を増やす事で、交通量を分散させ、混雑の 緩和につながるのではないか。

県の考え芳

★ :実現に向けて敢り組んでいきます 👉 :既に敢り組んでいます 🔾 :今後、取組みを*考えるための参考にします



既に取り組んでいます



県では、休日などに観光地へ向かう車による渋滞を改善するため、 かんこうち 観光地へアクセスする新たな道路の整備を重点的に進めています。



かんれんじょうほう **<関連情報>**



神奈川県内の道路の実施計画である「改定・かながわのみちづくり計画」は次の HPでご覧になれます。



かながわけんけんどせいできょくどうろぶどうろきかくか 神奈川県県土整備局道路部道路企画課の HP





ご意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。

いただいたご意見



観光客による、ゴミのポイ捨て問題が深刻化している。ポイ捨てが減ると 養の景観も良くなるので、街中のゴミ箱を増やしたり、ポイ捨て防止のポ スターを作るなど、小さいことからコツコツ取組んでいく事が大事だと思 う。

県の考え方

🛨 : 実現に尚けて取り組んでいきます 👉 : 既に取り組んでいます 🔾 : 今後、取組みを*考えるための参考にします



今後、取組みを考えるための参考にします



ポイ捨てがない景観が良いまちであることはとても大切だという視点は、その通りだと思います。ポイ捨てを減らすためには、観光客への啓発が大切ですが、県においても、例えば外国人観光客を対象としたマナー啓発などの取組などを行っています。

いただいた意見は、今後取組を考えるための参考にします。





ご意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。

いただいたご意見



観光地で、観光客と地域住民のトラブルが増加している。地域住民の 本満をアンケート調査し、著えた対策をポスターで掲示するといいと思

県の考え方

눛 :翼窺に尚けて敢り組んでいきます 👉 :競に敢り組んでいます 🔾 :今後、散組みをっ考えるための参考にします



今後、取組みを考えるための参考にします



地域住民の方の気持ちを調査するという視点はとても重要です。県でもこんで、場合を調査するという視点はとても重要です。県でも今後、県内各地の地域住民の方々にアンケートを行い、観光に関して満足していること、不満に感じていることを調査する予定です。その調査で不満に感じている人が多い項目や地域を分析して、観光の課題や対策を考えていきたいと思います。

いただいた意見は、今後取組を考えるための参考にします。



ご意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。

いただいたご意見



高齢者の介護や子育て支援のための募金を募ってはどうか。募金で集まった資金で、介護用品や保育玩具などを取り揃えてもらうことで社会全体の経費負担が減り、過ごしやすい社会になると思う。

県の考え方

★ : 実現に向けて載り組んでいきます 👉 : 競に載り組んでいます 🔾 : 今後、散組みを*考えるための参考にします



既に取り組んでいます



ふるさとや応援したい地方自治体に寄附をすると住民税などが軽減される「ふるさと納税」制度があります。いただいたご寄附を、県の発展のために活用する目的から「かながわキンタロウ寄附釜(ふるさと納税)」を平成24年に創設いたしました。寄附をいただく際には、活用する県の取組を指定いただくことができます。取組の一例として、「神奈川子ども・子育て基金」があります。安心して子どもを生み、育てる事ができる社会を実現するための取組の実現にむけて活用しています。



かんれんじょうほう **<関連情報>**







県HP:予ども・予育て基金



ご意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。



いただいたご意見



子育てしやすい環境といつでも子どもを持てる環境を作れれば少子化制度も少しずつでも解消されていくと思う。育体や産体を取りやすい仕事環境を作り、制度改善だけでなく、ワークライフバランスを支援する取組が必要である。

県の考えた

💌 : 実現に尚けて敢り組んでいきます 👉 : 競に敢り組んでいます 🔾 : 今後、取組みを*考えるための参考にします



既に取り組んでいます



育児休業や産前産後休暇を取りやすい仕事環境を作り、ワーク・ライフ・バランスを支援する取組が必要なのは、そのとおりだと思います。県では、子どものための休暇など、会社が仕事と育児を両立できる職場環境を整難備するよう、奨励金を交付しています。

かんれんじょうほう <関連情報>



県HP:「令和6年度神奈川県多様な父科が活躍できる職場環境整備支援獎別釜」









いただいたご意見



字どもが多い世帯への配慮として、親子で楽し<mark>める施設が増える</mark>といい。

県の考え方

★ : 実現に尚けて取り組んでいきます 👉 : 競に取り組んでいます 🗘 : 今後、取組みを*考えるための参考にします



既に取り組んでいます



お子さんにとっても保護者の方にとっても、安心して遊べる場所があるのは嬉しい事だと思います。県が運営するウェブサイト「パパノミカタ」では、かぞく家族が一緒に楽しめる県内のお出かけスポットの情報を掲載しています。







「パパノミカタ」ウェブサイト



ご意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。





少子化への対策は、結婚・出産に温かい社会を作り、少しでも不安をなくせるようにしていくことだと思う。子どもを預けられる場所をスーパーの中に作ると、親の自由時間ができ、他の親子と悩みを相談し合うことができるのではないか。

県の考え方

★:実現に向けて取り組んでいきます 👉: 競に取り組んでいます 🔾: 今後、取組みを*考えるための参考にします

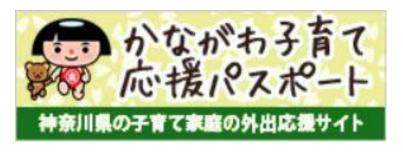


既に取り組んでいます



子育てにやさしい社会を作り、子育てに対する不安を解消することは大事な取組だと思います。県では、妊娠中の方や、12歳までのお子さんのいるご家庭を対象に「かながわ子育て応援パスポート」という取組をしています。パスポート登録をすると、県内のスーパーやお店などの協力施設から様々なサービスを受けることができます。子育て世帯にやさしいサービスを検索することもできます。ぜひ利用してください。

かんれんじょうほう <関連情報>





「かながわ子育て応援パスポート」HP



ご意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。



いただいたご意見



妊婦さんに優しくすることは大事だと思う。妊婦や、産後1年以内の産婦を対象に、タクシーチケットを配布するのはどうか。自分や生まれた子どものために、通院時に病院まで送迎してくれるタクシーを利用できれば愛心である。使用できる距離を決めるのが良いと思うが、一律にはせず、市町村が決定するのが良いと思う。

県の 考え方

\star :冥境に向けて敢り組んでいきます 🕜 :競に敢り組んでいます 🔾 :今後、散組みを"考えるための参考にします



う後、取組みを考えるための参考にします



妊産婦さんの健康は赤ちゃんにも大きく影響することから、社会全体で 妊産婦さんを気づかい、支えることはとても大切です。

妊産婦さんがタクシーを利用できる支援制度は、県内のいくつかの市町で 実際に行われています。

県では、好産婦さんや赤ちゃんが健やかに過ごせるための支援策などについて、県内の市町村と共有する会議を開催していますので、そのような場を通じて、引き続き妊産婦さんや赤ちゃんが安心して過ごせる環境づくりを進めていきます。



妊娠・出産・子育てに関する情報

「妊娠のからそ者で用するの相談室」、健康診断、保健サードスについてご紹介します。









県HP:妊娠・出産・予管てに関する情報







いただいたご意覚



出生率の減少を解消するために、未婚の芳には、「なぜ結婚しないのか」、「どんな支援があったら結婚したいと思うか」、既婚の芳には、「慎からの支援で良かったこと」、「他にどんな支援があれば良いか」といった内容をアンケートで調査して、対策を立ててはどうか。

県の 考え方

★ : 実現に高けて敢り組んでいきます 👉 : 競に敢り組んでいます 🔾 : 今後、散組みを*考えるための参考にします



こんご とり く かんが さん こう 今後、取組みを考えるための参考にします



全国調査によると、25~34歳の未婚者が独身でいる理由は、男女ともに 「適当な相手にめぐりあわない」が最も多く(男性43.3%、女性48.1%) でいます。

こうした中、県は、結婚を希望する人がその希望を実現できるよう、結婚 しまなしまく こい 支援施策「恋カナ!プロジェクト」に取組んでいます。

いただいたご意見は、恋カナ!プロジェクト事業を進めるにあたり、参考とさせていただきます。







「恋カナ!サイト」ウェブページ



ご意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。

いただいたご意見



習い事や進学の支援や学費の免除、大学の奨学金返済を不要にするのはどうか。

奨学金返済が大きな負担になって結婚を控える人が多くいる。また、あるアンケートで「智い事や進学の支援があれば子どもの人数を増やしたい」と答えた人が7割弱いた。

県の考えた

눛 : 冥境に向けて敢り組んでいきます 👉 : 競に敢り組んでいます 🔾 : 今後、散組みを端えるための参考にします



う後、取組みを考えるための参考にします



習い事や進学の支援については、予育で中の家庭の経済的な負担を減らし、教育の格差を無くしていくためにも考えていかなければいけない課題だと思います。学費の免除や大学の奨学金返済制度についても、国や各自治体で検討しているところです。

いただいた意見は、今後の子ども・子育て支援の取組の参考にします。





ご意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。

いただいたご意見



少子化への対策のために、家や草のローンを一部貧担してはどうか。 育児に必要なお金や、親が働けない人の経済的な貧担を減らす必要 があると思う。

県の考えた

丈 :冥境に向けて乾り組んでいきます 👉 : 競に取り組んでいます 🔾 : 今後、散組みを*考えるための参考にします



今後、取組みを考えるための参考にします



住まいに関しては、高齢者、病気により働けず生活に困っている方、子育でまたいなどといった住宅の確保に配慮が必要な方に対し、公営住宅、民間賃貸住宅の空き室を利用したセーフティネット住宅などへの入居支援をおこなっています。

神奈川県住情報ポータルサイト









ご意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。

いただいたご意見



3人以上の子どもがいる家庭への給付をするのはどうか。子どもが 3人いると食品や教育費などが大幅に増え、経済的な負担が多い。「結婚して 3人自を産むと〇〇万円給付」とするといい。

県の考え方

丈 :冥境に高けて取り組んでいきます 👉 :競に取り組んでいます 🔾 :今後、取組みを*考えるための参考にします



既に取り組んでいます



子育て世帯への支援のため国が行っている制度に、児童手当制度があります。0歳からのお子さんを養育している方を対象に手当が支給される制度です。や和6年10月からは制度が拡充され、中学生までだった支給期間が高校生年代(18歳まで)となり、第3子以降の支給額も3万円に増額となります。また、決められた上限を超えた所得がある方は受け取れませんでしたがその制限も無くなります。

こそだ。 ちゅう けいざいてき しぇん 子育て中の経済的な支援について、今後も国との意見交換を行っていき ます。



ご意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。



いただいたご意見



子育て家庭の経済的な負担の解消のために、食品に貼ってあるシールを集め、店舗で育児に必要なものと交換できる制度を作ってはどうか。

県の考え方

📩 :冥境に尚けて敢り組んでいきます 👉 :既に敢り組んでいます 🔾 :今後、散組みを*考えるための参考にします



今後、取組みを考えるための参考にします

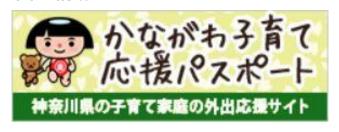


子育て家庭の経済的な負担の解消は、子育てに対する不安解消のための 大事な視点だと思います。県では、妊娠中の方や、お子さんのいるご家庭 を対象に「かながわ子育て応援パスポート」という取組をしています。パス ポート登録をすると、県内の協力施設から割引サービスなど様々なサービ スを受けることができます。これからも子育てを地域全体で応援していく といるとなるよう取組んでいきます。

いただいたご意見は今後の子ども・子育て支援の取組の参考にします。



かんれんじょうほう <関連情報>





かながわ子育で応援パスポート HP



ご意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。

いただいたご意見



子どもの意な発熱などで会社を早退しなくてもいいように対策が必要だと思う。病院への送迎サービス付きの、子どもを預けられる施設があるといい。

県の考えた

★ : 実現に向けて取り組んでいきます 👉 : 競に取り組んでいます 🔾 : 斉養、散組みを*考えるための参考にします



既に取り組んでいます



子どもが病気のときや保育所で急に発熱したとき、仕事等の理由で、家での保育が難しい、すぐに迎えに行けないという場合があると思います。 県内では、病院・保育所等において、病気の子どもを一時的に預かることができる「病児保育事業」を実施している施設があります。また、市町村によっては、病児保育室への送迎サービスを行っていたり、保育中に体調や良となった子どもをそのまま保育できる施設もあります。県ではこうした

取組をサポートしています。



県HP「神奈川県内の病児保育事業について」

https://www.pref.kanagawa.jp/docs/sy8/cnt/f535521/byouji.html





ご意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。



いただいたご意見



高齢者の介護施設が定りないため、健康で過ごしてもらう事で介護施設に入らずに済むようになるとよい。60歳以上の人を対象として、運動する機会を作るといい。高齢者に運動を好きになって欲しい。

県の考え方

★ : 実現に向けて取り組んでいきます 👉 : 競に取り組んでいます 🔾 : 今後、取組みを*考えるための参考にします



既に取り組んでいます



県では、60歳以上の方を対象として、かながわシニアスポーツフェスタを 行っています。

このイベントは、高齢者の日ごろの健康づくりとスポーツ活動等の成果を はっぴょう まかい 発表する機会をつくるとともに、高齢者の社会参加や健康・生きがいづく りを支援することを目的としています。

今年度は卓球やサッカー、テニスなどのスポーツ種目、囲碁や将棋などの ※んかしゅもく ぜん しゅもく じっしょてい 文化種目の全36種目を実施予定です。

こんで 今後もより多くの方に参加いただけるよう、周知などに努めていきます。



かんれんじょうほう **<関連情報>**

<かながわシニアスポーツフェスタ 2024 の開催について>



答種首の開催日時や会場等を記載しています。 過去の実施内容についても掲載しております のでぜひご覧ください。

県HP:かながわシニアスポーツフェスタ 2024を開催します!







ご意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。

いただいたご意見



子育てについて相談できたりアドバイスをもらえる場所や講演会の機会をたくさん作るといいと思う。お金の問題以外で子どもが欲しいと思わない理由の 1位が「子育てに首信が無い」である。少しづつ不安を無くし、首信を持ってもらうようにする必要があると思う。

県の考え方

★ : 実現に高けて取り組んでいきます : 競に取り組んでいます : 今後、収組みを考えるための参考にします



既に取り組んでいます



乳幼児及びその保護者への支援については、予育で中の保護者の不安感等を緩和し、地域の予育で親子の交流促進や育児相談等を推進するための地域予育で支援拠点があります。

県では、市町村における地域子育て支援拠点の設置を促進するため、国の 補助金の活用をサポートすることで、手助けしています。



ご意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。



いただいたご 意見



幼稚園と保育園の両方を増やすといい。「自分の自由な時間が無くなる」という理由で子どもを持たない人が多い。仕事をしていなくても自分の時間が作れるように、0歳から幼稚園に子どもを預ける事を可能にし、更に幼稚園の数を増やすと良いと思う。仕事と育児の両立が大変という理由もあり、保育園も増やすといい。

県の考え方

★ :実現に向けて敢り組んでいきます 👉 :既に敢り組んでいます 🔾 :今後、取組みを*考えるための参考にします



既に取り組んでいます



保育所などの整備については、国の補助金の活用をサポートすることで、 施設の整備を手助けしています。

また、令和8年度からは、親が働いているかいないかにかかわらず、 保育所などに子どもを預けることができる「こども誰でも通園制度」が全市 町村で始まります。県は、市町村と協力し、この制度がスムーズに始まる ようサポートすることで、さらに子育てをしやすい環境作りを自指しています。



the property of the property

https://www.pref.kanagawa.jp/docs/sy8/cnt/f535521/byouji.html





ご意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。



いただいたご 意見



字どもがいる事の良さを伝える場所を提供したり、字賛で中の人をサポートするよう呼びかけるといい。「字賛でしづらい世の中だから」という理由で字どもを持たない人もいる。字賛で中の人を応援するよう、ポスター掲示やネット広告などで呼びかけるといいと思う。自分も字賛で中の人にバスや電車で席を譲るようにしたい。

県の考え芳

★ :実現に高けて敢り組んでいきます 👉 :競に敢り組んでいます 🔾 : 芩後、散組みを物えるための参考にします



既に取り組んでいます



子育てや子どもを大切にする社会の雰囲気づくりはとても重要だと思います。

関では、子育でを応援する社会をつくるため「こどもまんなかプロジェクト」を進めています。県内市町村の「こどもまんなか」の取組について、SNS を通じた広報活動や、県内の主要公共交通機関の軍内ビジョンでの動画放映を行いました。また、県内企業等に、自ら取組んでいる「こどもまんなかアクション」を応募いただき、県ホームページで広報することで、社会全体で子どもや子育てを支えるためのやさしい社会づくりに活用していきます。







かながわこどもまんなかプロジェクト HP



✦ ぃゖん ご意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。』

いただいたご意見



けっこん ぜんてい しゅっさん かんが けっこん けっこん おも 結婚を前提に出産を考えるため、まずは、結婚をしたいと思わせる こと ひつよう ため けっこん すっく 事が必要である。その為に、結婚についてのドラマを作るのはどうか。

YouTube などのネット広告はスキップされてしまうが、英感できる 内容のドラマには若者は興味を崇す。社会現象となれば「結婚したい」 と思う人が増え、出産する人が増えると思う。

けん かんが かた **県の 考え方**



こんご とり く かんが さんこう 今後、取組みを考えるための参考にします



出生数を増やすためには「結婚をしたいと思わせることが必要」という視点は、その通りだと思います。

その手段としてドラマを作るのも面白いとは思いますが、ドラマ1話作るのに、3,000万円前後かかると言われており、すぐに実現するのは難しそうです。いただいた意見は、今後取組みを考えるための参考にします。
はなっては、結婚したい方を支援する「恋カナ!プロジェクト」や、結婚したカップル

県では、結婚したい方を支援する「恋カナ!プロジェクト」や、結婚したカップル しんせいかつ ひょう ほじょ に新生活の費用を補助する取組を実施しています。







こい 「恋カナ!プロジェクト」ウェブサイト



↑ いけん ご意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。」

いただいたご意見



生活保護や児童扶養手当の対象者は、体験格差が生じると考える。そこで、用途限定のバウチャーを配布してはどうか。野球やスイミングを始めたい子どもたちが家庭環境に左右されず、体験の機会を平等に得ることで、現在や将来に夢や希望をもって成長していける社会を実現できると思う。

_{けん かんが かた} **県の 考え方**

★:実現に向けて取り組んでいきます (ア:既に取り組んでいます (人):今後、取組みを考えるための参考にします



こんご とりく かんが さんこう 今後、取組みを考えるための参考にします



金銭の給付では家庭の事情によっては野球やスイミングなど子どもたちのために使用されないことがあると思います。そのため、子どもたちが体験の機会をで等に得るために、用途を限定するバウチャーの配布は効果的な方法になると思います。バウチャーを配布するにはバウチャーの利用を受けてくれる地域のお店の協力が必要です。また、生活保護や児童扶養手当を受給していることを知られたくない家庭への気づかいや心配りが必要になるため、すぐに実現するのは難しそうですが、今後取組みを考えるための参考にします。





神奈川県ホームページ 世いかったきゅうせたい 生活困窮世帯の子どもの健全育成について 子どもの健全育成プログラム (VI学習支援等居場所づくり企画支援プログラム)





↑ いけん ご意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。」

いただいたご意見



字ども後望でのボランティアを通じて、「自分の声は社会から必要とされていない」と感じている人が多いと感じた。そこで県に意見を伝えることができるシステムを組み込んだQRコードを街中に設置してほしい。声を集めやすい環境を整える事で、気軽に県へ提案できる場が確保されている、ということを県民に伝えることが必要だと思う。

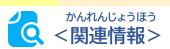
けん かんが かた **県の 考え方** ★:実現に向けて取り組んでいきます (ア:既に取り組んでいます (人):今後、取組みを考えるための参考にします



こんご とりく かんが さんこう 今後、取組みを考えるための参考にします

ていぁん こえ ぁつ かんきょう ととの こと じゅうよう まも ご提案のとおり「声を集めやすい環境を整える事」は重要だと思います。

・ 関では6~29歳の子ども・若者を対象として、オンライン上に、時間の制約なくじっくり考えた上で意見を投稿できる「掲示板」や、他人に自分の意見を見られずに、匿名で考えを伝えることができる「意見箱」を設置するなど、デジタルを活用して声を集めやすい環境の整備を行う予定です。実施にあたってはQRコードを記載したチラシの配布など広く取組が行きわたるよう努めて参ります。



「子どもの意見反映について」 → 県ホームページ







✦ いけん - ご意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。」

いただいたご意見



こうえん 公園がどんどん赤ちゃん用になっている気がする。小学生の自分達が

思いっきり走れる広いスペースが欲しい。

けん かんが かた **県の 考え方**



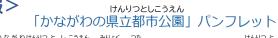
既に取り組んでいます



関立都市公園では、広い芝生広場や大きな遊具がある広場など、小学生の方が、身体を思いきり動かせるフィールドをたくさん用意しています。また、野球場やサッカー場、多目的グラウンドなどスポーツを楽しめる公園もたくさんあるので、機会がありましたら、ぜひご利用ください。

市町村で整備している公園も多くありますので、身近な公園については、ぜひ お住いの市町村にもご意見を伝えてみてください。







かながわけんりつと しこうえん みりょく つた 神奈川県立都市公園の魅力を伝えるため、「かながわの県立都市公園」パンフレット(無料)を作成しています。 パンフレットは、各県立都市公園のほか、都市公園課、各土木事務所、県政情報センター、県政情報コーナーで手に入れることができます。また、電子データでもご覧になれます。

かながわけんとしこうえんか 神奈川県 都市公園課 ホームページアドレス https://www.pref.kanagawa.jp/docs/tu5/tanosimu.html





→ こまれ ご意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。↓

いただいたご意見



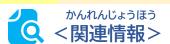
けん かんが かた **県の 考え方** ★:実現に向けて取り組んでいきます (ア:既に取り組んでいます (人):今後、取組みを考えるための参考にします



こんご とりく かんが さんこう 今後、取組みを考えるための参考にします



健康増進法という法律では、特に健康影響が大きい子どもや患者の皆さんに を記慮して、多くの方が利用する施設の区分に応じて、施設の一定の場所を除き では、施設管理者の方がとるべき措置等を定めています。 また、屋外など喫煙できる場所であっても、周囲の人たちに望まない受動喫煙を生じさせないよう、配慮する義務を定めています。いただいたご意見は、



かながわのたばこ検索





↑ いけん ご意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。↓↑

いただいたご意見



日本はお金の使い方を考えた方がいいと思う。武器や軍事に使うより、

難民救助等に使った方が平和のためになる。

^{けん かんが かた} **県の 考え方**



既に取り組んでいます



受け入れた難民の方々も神奈川県内で暮らす外国人住民ですので、こうした外国人住民が安心して暮らせるように、生活上での困りごとに様々な 情報ではいないなっていたが、またが、こうしたが、こうに、生活上での困りごとに様々な 情報ではいないなっていた。「多言語支援センターかながわ」の運営や、日本語を 学びたい方に向けて、初心者向けの日本語講座の実施など、様々な支援を でつております。



多言語支援センターかながわ









◆ いけん ご意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。↓◆

いただいたご意見



"10円遊園地"みたいに親子で安心して遊べる場所が欲しい。

_{けん かんが かた} **県の 考え方** 

こんご とりく かんが さんこう 今後、取組みを考えるための参考にします



みなさんにとっても保護者の芳にとっても、愛心して遊べる場所があるのは嬉しい事だと思います。県が運営するウェブサイト「パパノミカタ」では、家族が一緒に楽しめる県内のお出かけスポットの情報を掲載しています。今後も情報は更新していく予定ですので、お出かけ先の参考にしてください。







「パパノミカタ」ウェブサイト



ゝゖん 意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。」



農園や苗んぼが近くにあって、希望する人が作業できるといい。



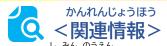
既に取り組んでいます



のうえん。た 農園や田んぼで農作業をすることで、収穫の喜びや農業の大切さを知るこ とができます。

けんない のうさぎょう とお のうぎょう した 県内には、農作業を通して農業に親しむことのできる農園が各地にあり、 のうかいがい かたがた やさい 農家以外の方々が野菜などの栽培を楽しんでいます。

また、県内の市町村等では、農作物の収穫体験など農業と触れ合うことので きるイベントを開催することもありますので、ぜひ参加してみてください。



く<mark>関連情報</mark>> ∪ みん のうえん ・市民農園について(県ホームページ)

https://www.pref.kanagawa.jp/docs/n8f/cnt/f300479

・農林水産省の小学生・中学生向け「農業学習」コンテンツ (NHKエデュケーショナルWebページ)

https://www.nhk-ed.co.jp/business/kyozai/nougyou/







↑ いけん ご意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。↓↑

いただいたご意見



助産院が定りない市町村があると家族の仕事の<mark>関係で聞いた。</mark>

困っている人がいると思う。

_{けん かんが かた} **県の 考え方**



既に取り組んでいます



助産院等が自宅から遠い方でも安心して妊娠、出産が行えるよう、 じまたいかとうの設置を行う事業者に対して整備費用の一部を補助する取組 を実施しています。

かんれんじょうほう <関連情報>

助産院を開設するのに 5,000万円かかる場合

いまされた。 助産院の工事費(施設整備)に 4,000万円 施設整備)に 1,000万円 医療機器の購入費(設備整備)に 1,000万円 まんえん 合計5,000万円の 1/2 の 2,500万円を けん。 県が補助します。 せいび ひよう まんえん 整備費用・・・5,000万円

うち、事業者…2,500万円

うち、県…2,500万円



↑ いけん ご意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。↓↑

いただいたご意見



としょかん ちか うれ まんがせんよう としょ<mark>かん 図書館が近くにあると嬉しい。漫画専用の図書館があってもいい</mark>と

^{おも} 思う。

_{けん かんが かた} <mark>県の 考え方</mark>

★:実現に向けて取り組んでいきます

☆:既に取り組んでいます

へ:今後、取組みを考えるための参考にします



こんご とりく かんが さんこう 今後、取組みを考えるための参考にします



としょかん 図書館が近くにあったり、漫画専用の図書館があることは嬉しいですね。

関では、や和5年度にメタバースを活用して趣味や就労など社会参加につながるイベント「神奈川県"つながり発見"パーク」を開催しました。この中で、趣味や仕事をテーマにした漫画(電子書籍)を読むことができるコーナーを作り、参加者の方に楽しんでいただきました。メタバースなどインターネットを活用することで、身近にできることが増えていくよう取り組んでいきます。





メタバース空簡 神奈川県"つながり発覚"パーク



越礏や仕事をテーマにした漫画 (電子書籍)が読めるコーナー



神奈川県"つながり発覚"パーク



↑ いけん ご意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。_ ↑

いただいたご意見



字どもとしてではなく一人の人格として、対等な関係として意見を聞いてほしい。

学どもに関することでもっと学どもの意見を授<mark>設してほしい。</mark>

^{けん かんが かた} **県の 考え方**

★:実現に向けて取り組んでいきます (ア:既に取り組んでいます (人):今後、取組みを考えるための参考にします



既に取り組んでいます



令和5年4月1日に施行されたこども基本法においても、子ども・若者の意見 はんえい 反映について自治体のやるべき事としてはっきりと記載をされました。



「子どもの意見反映について」 → 県ホームページ







ま見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の*考えは次のとおりです。↓





ったときける。じょぜいきんまいと、とうにゅう 卵子凍結に助成金制度を導入してはどうか。卵子凍結のメリットは、パ ートナーの有無、職業環境や社会的な立場を考慮して、出産したいタ イミングに備える事が可能となる事だが、費用が高額である。





こんご とりく かんが さんこう 今後、取組みを考えるための参考にします



らんしとうけっ かんが かた いっかた いっかた いっぱん であるという 課題があること 卵子凍結を 考えている方にとって、費用が高額であるという課題があること は認識しています。一方で、最も大切なことは、将来の妊娠や出産なども考 えて、若い頃から自分のライフプランを考えていくことだと思います。

このことから、県では、若い頃から妊娠・出産を含め将来のライフプランを考 えて健康管理を行う「プレコンセプションケア」を進め、その中で卵子凍結のメ リットや身体への負担といったリスクなど、正しい情報を伝えていきたいと考 えています。



ただいたご意見



石川県に「プレミアム・パスポート事業」という制度があり、それを取り入 れてはどうか。子育てを社会全体で支えることを目的に、2人以上の子 どもがいる県内の家庭を協賛企業が支援する制度である。協賛企業へ パスポートの提示を行うと割引などのサポートを受けることができる。 協賛企業には県から支援があり、更に協賛企業が増える仕組みとなっ ている。

「★:実現に向けて取り組んでいきます プラ:既に取り組んでいます ○」:今後、取組みを考えるた

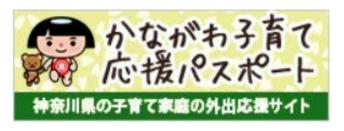


既に取り組んでいます



かながわけん やいしかわけん 神奈川県でも石川県の「プレミアム・パスポート事業」と似ている制度で、第 ー子から支援を受ける事ができる「かながわ子育て応援パスポート」を実施 しています。妊娠中の方や、お子さんのいるご家庭は、パスポート登録をす ると、県内の協力施設から様々なサービスを受けることができます。 これからも子育てを地域全体で応援していく社会となるよう取り組んでい きます。







「かながわ子育て応援パスポート」 ウェブサイト



◆ いけん ご意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。↓

いただいたご意見



字替てしやすい国ランキング上位である北欧の国々のように、字替てに 寛容で、字どもを大切にする社会の雰囲気づくりが必要である。例えば 以下のような取組みはどうか。

- ・電車やレストランで子ども用のスペースを作る事
- ・子どもが成長しても使える勉強・図書スペース等子どもの居場所を増やす事

けん かんが かた 県の 考え方

★:実現に向けて取り組んでいきます (ア:既に取り組んでいます (人):今後、取組みを考えるための参考にし



既に取り組んでいます



字育てや子どもを大切にする社会の雰囲気づくりはとても重要だと思います。 はないの鉄道会社の一例では、小さい子ども連れの乗客がより安心して利用できるよう、車両の一部を「子育て応援車」として運行しています。

また、県では、子育てを応援する社会をつくるため「こどもまんなかプロジェクト」を進めており、県内市町村の「こどもまんなか」の取組についてYoutubeやX、Facebook などを通じた広報活動や、県内の主要公共交通機関の車内ビジョンでの動画放映を行いました。





かながわこどもまんなかプロジェクトウェブサイト





◆ いけん ご意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。」

いただいたご意見



産休・育休からの復帰しやすい環境づくりが必要である。 テレワークの推進、男性が家事を学ぶ場の提供、育休を夫婦で分割 取得可能とする制度、子どもの為の専用休暇制度(慣らし保育にも 対応)、といった取組みが必要だと思う。

けん かんが かた **県の 考え方**

★:実現に向けて取り組んでいきます (ア:既に取り組んでいます (人):今後、取組みを考えるための参考にします



既に取り組んでいます



たがなったできゅうか いくじきゅうぎょう から復帰しやすい職場環境づくりが大切なのは、そ の通りだと思います。

関では、通勤の負担を減らすことができるテレワークを広めています。また、 たいわられたとからは、子どもの学校行事への参加のための休暇など、仕事と育児 を両立できる職場環境を整備した会社に奨励金を交付します。

なお、育児休業は、今の制度でも、夫婦で分割取得ができます。

かんれんじょうほう <関連情報>

第女ともに仕事と育児を満立できる職場環境の整備を促すため、育児休業を取得しやすい職場環境の整備に取り組み、第性従業資が育児依業を取得した事業者に、最大50万円の奨励金を交付しています。





「やかり 5 年度神奈川原勢性の 育児 でかる 5 年度神奈川原教性の 育児 きゅうきょうしゅとくそくしんしょうかいきん 影りょう 休 業取得促進奨励金の募集について」 ホームページ



↑ いけん ご意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。」

いただいたご意見



安性が、出産によりキャリアが中断されてしまう事を心配し、出産をあきらめるケースがあるのではないか。資休から美ってもキャリアを保証する制度の検討が必要だと思う。

^{けん かんが かた} **県の 考え方**



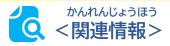
既に取り組んでいます



妊娠や出産、育児休業で休んだ人に、休んだことだけを理由に不当な扱い をするのは、法律で禁止されています。

関では、仕事と育児を両立したい人のために、両立の資担や不安感を軽くするためのカウンセリングや、両立のためのコツを伝えるセミナーを実施して、仕事が続けられるように支援しています。

「仕事と子育て両立応援・中高年働き 方相談」ホームページ



かながわ労働センターでは、仕事と子替ての満立 を応援するためのカウンセリングやセミナーを 実施しています。



「仕事と子育て両立応援・中高年 膝うかたきりだか。 働き方相談」ホームページ



↑ いけん ご意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。↓↑

いただいたご意見



けん かんが かた <mark>県の 考え方</mark>

★:実現に向けて取り組んでいきます 🎤:既に取り組んでいます 🔍:今後、取組みを考えるための参考に



既に取り組んでいます



育児と仕事の両立支援は、働く女性のキャリアを考えるうえで重要だと思います。仕事と子育ての両立に関する取組について、一定の要件を満たした事業者を認証し、神奈川県のホームページで公開しています。また、認証事業者には、広告や商品への使用が可能な「かながわ子育て応援団」のマークを交付しています。



「子育て支援に取り組む事業者の認証制度について」 https://www.pref.kanagawa.jp/docs/sy8/cnt/f6585/







↑ いけん ご意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。」

いただいたご意見



関性がもっと育児に参加する事が必要である。育休取得率の高い企業は、育休相談窓口の設置など体制整備に取り組んでいる。そのような企業が増えるよう、企業向けに、行政の育児サポート内容や育休取得者の体験談共有などを行うセミナーを開催し、男性育休制度の役進を図ってはどうか。

_{けん かんが かた} **県の 考え方**

★:実現に向けて取り組んでいきます (ア: 既に取り組んでいます (人): 今後、取組みを考えるための参考にします



既に取り組んでいます



関性の育児参加が必要なのは、その通りだと思います。関性が育児休業をたくさん取れるようにするには、会社が育児休業を取りやすいように職場環境を整備することが大切です。県は、男性従業員が育児休業を取れるように職場環境を整備した会社に、奨励金を交付しています。また、令和6年度からは、子どもの学校行事への参加のための休暇など、仕事と育児を両立できる職場環境を整備した会社にも、奨励金を交付します。

かんれんじょうほう <関連情報>

第女ともに仕事と育児を満立できる職場環境の整備を促すため、育児休業を取得しやすい職場環境の整備に取り組み、第性從業員が育児依業を取得した事業者に、最大50万円の奨励金を交付しています。





「やかり 5 年度神奈川原勢性の 育児 でかる 5 年度神奈川原教性の 育児 きゅうきょうしゅとくそくしんしょうかいきん 影りょう 休 業取得促進奨励金の募集について」 ホームページ







ぎょうせい<mark>しゅたい</mark> 行政主体で、リモートワークオフィスを作ってはど<mark>うか。保育士が常</mark>駐 する<mark>カフェのようなイメージで、必要な時は子どもの様子を確認でき、</mark> またも集中できる。子育で中の人同士の情報交換<mark>もできる。保育</mark> えん 園とリモートワークの良いとこ取りをした、育児と仕事の中間地点があ っても良いのではないか。

★:実現に向けて取り組んでいきます (ア:既に取り組んでいます (又):今後、取組みを考えるための参考



こんご とり く かんが さんこう 今後、取組みを考えるための参考にします



育児をしながら働ける環境づくりは、取り組んでいかなければいけない課題 です。実際に、キッズスペース併用のオフィスと、コミュニティカフェも併設した たせつ ぎょうせい れんけい てんかい みんかんきぎょう とりく 施設を、行政と連携して展開している民間企業の取組みもあります。女性の、 たよう じゅうなん はたら かた 多様で柔軟な働き方への支援はこれからますます重要と考えており、今後、 とり < かんが 取組みを考えるための参考とします。



◆ いけん ご意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。↓

いただいたご意見



字どもとの時間を確保するため、出産後に非正規で働く人もいるが、 非正規社員から正社員になるには大きな壁があるように思う。例えばイトーヨーカドーが導入している、「ステップアップ選択制度」のような、 非正規社員から正社員になれるような環境整備への支援が必要ではないか。働く女性がキャリアが途切れてもまた安心して働ける環境づくりに繋がる。

_{けん かんが かた} **県の 考え方**



既に取り組んでいます



非正規労働者を、正社員と比べて、不当な扱いをするのは、法律で禁止されています。また、労働契約の期間が定められている労働者は、働いて5岸を超える場合に期間の定めのない契約に変えられるルールもあります。国では、雇用・労働に関する相談窓口を設けており、県では、法律やルール、相談窓口などを問知しています。

かんれんじょうほう く関連情報>

かながわ労働センター(本所・支所)では、職場で置面するトラブルを防止するため、働く人たちや使用者からの労働相談を受けつけています。また、労働問題を解決するために役立つ情報を提供し、講座やセミナーを開催しています。



「かながわ労働センター総合案内」 ホームページ



✦ いけん ご意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。↓

いただいたご意見



少子化対策として、フィンランドの成功例である、「育児パッケージ」を取り入れてはどうか。衣類、おむつ、布団、歯ブラシといった生活必需品か、支給金を選択できるものである。

^{けん かんが かた} **県の 考え方**



既に取り組んでいます



大類、おむつ、布団、歯ブラシといった生活必需品や、準備のためのお金が支給される制度は非常に良いと思います。県は、株式会社テレビ神奈川など民間を繋が協力して実施している「はじめてばこ」の取組に協賛しています。神奈川県に生まれてきてくれて"ありがとう"の気持ちを込めて、県内にお住いの生まれて1歳以内のお子様向けに育児に役立つグッズを配布しています。







「はじめてばこ」ウェブサイト



↑ いけん ご意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。↓

いただいたご意見



出生率が上がるには、子どもが欲しいと自然に思えて、出産後も子育てが安心してできる社会になる必要がある。みんなで考えていくべき問題だと思う。

けん かんが かた **県の 考え方**

★:実現に向けて取り組んでいきます (ア:既に取り組んでいます (人):今後、取組みを考えるための参考にします



既に取り組んでいます



出生率を上げるため、子どもが欲しいと思えて、出産後も安心して子育てができる社会にしていくことは重要で、みんなで考えていく問題です。

国では、社会全体で子どもや子育て世帯を支える機運を醸成するため、こどもまんなか応援サポーターの就任を呼びかけ、県もサポーターに就任しました。ひとり一人が子どもや子育て世帯に向けて応援し、首らも応援アクションに取り組むことで、子どもや子育てにやさしい社会が、少しずつ作られていくと思います。









かながわこどもまんなかプロジェクト ウェブサイト



↑ いけん ご意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。↓

いただいたご意見



保育ママ(家庭的保育事業)における一時保育・一時預かりを制度化してはどうか。保育ママの、預かる子どもの数により収入が変動するリスクの解消にもつながる。保育ママ制度の認知が進めば、子どもの預け先の選択肢が増え、出産を考える人も増えるのではないか。

けん かんが かた **県の 考え方**

★:実現に向けて取り組んでいきます →:既に取り組んでいます →:今後、取組みを考えるための参考にしま



こんご とりく かんが さんこう 今後、取組みを考えるための参考にします



家庭的保育事業での一時保育・一時預かりは現在の制度でも不可能ではないと認識しています。この制度上の問題につきましては、こども家庭庁に確認していくとともに、家庭的保育事業における一時預かりは、市町村が実施するかどうかの判断による部分もあるため、市町村と問題を共有し、実施に向けた検討を進めていきたいと考えています。

かんれんじょうほう <関連情報>



↑ いけん かながわけん かんが つっき ご意見に対する、神奈川県の 考えは次のとおりです。↓ ご意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の 考えは次のとおりです。↓

いただいたご意見



「字替てを影接し、紫ちゃんが泣いていても気にしない」というメッセージを表す、「赤ちゃんバッジ」を作成してはどうか。SDGsバッジのように、一見何のバッジか分からないけれど、デザイン的にかっこいい、幅広い世代に受け入れられるデザインにするといいと思う。

けん かんが かた **県の 考え方**

★:実現に向けて取り組んでいきます →:既に取り組んでいます →:今後、取組みを考えるための参考にし



既に取り組んでいます



赤ちゃんの泣き声を問題が気にするのではないか、という外出やの不安を解消する事は、子育てしやすい社会づくりの大事な視点だと思います。場では「赤ちゃんが泣いても気にしませんよ」という意思表示を現す「WEラブ赤ちゃんプロジェクト」に賛同し、赤ちゃんバッジを作成しています。これからも子育てに優しい社会の実現に向けて取り組んでいきます。幅広い世代に受け入れられるデザインについてのアイデアは今後の取組みの参考にしたいと思います。







<かながわけんごうしま <神奈川県公式ウェブサイト> かながわけ点 神奈川県は「WE ラブ赤ちゃんプロジェクト」 に賛同しています



✦ いけん ご意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。」

いただいたご意見



子育てセミナーを開催してはどうか。お父さんにも一緒に参加してもらい、育児の大変さややり方を知ってもらい、お母さんの負担を減らす効果があり、また、お母さん同士の交流の場ともなる。さらに企業と連携して開催する事で、育児グッズ等の試供品を配布する事ができるようになり、子育てを楽にする効果があると思う。

けん かんが かた **県の 考え方**

★:実現に向けて取り組んでいきます →:既に取り組んでいます →:今後、取組みを考えるための参考にしま



既に取り組んでいます



お父さんも一緒に参加する子育でセミナーは、愛くの市町村の子育で支援センターなどで実施しています。ぜひお住いの地域の子育で支援センターのイベント情報などをご覧ください。また、県では、令和5年度に育児中のお父さんを対象に座談会「パパトーク」を実施しました。パパトークでは、育児をしながら働く工夫や夫婦間のパートナーシップ等子育ての色々なことについてお父さん同士で話し合いました。
さらに、県では株式会社テレビ神奈川など民間企業が協力して実施している「はじめてばこ」事業に協賛しており、生後1歳未満のお子様がいるご家庭に子育てに役立つグッズを配布しております。







「はじめてばこ」 ウェブサイト





「パパノミカタ」 ウェブサイト



。 意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。↓



うども食堂に資金を援助して、開催頻度を多くしてもらうのはどうか。 ボランティアの経験から、子ども食堂は、子ども達の居場所になり、 ちいき、こうりゅう ば じょうほうきょうゆう ば こどく かいしょう 地域の交流の場、情報共有の場、孤独を解消する場として、とてもい い取組みと感じた。月に数回の開催ではもったいないと思う。

★:実現に向けて取り組んでいきます
ご会後、取組みを考えるため





既に取り組んでいます



子ども食堂は「子ども達の居場所」だけではなく、「地域の交流の場」「情報 きょうゆう ば ことく かいしょう ば よいじ ばしょ おも 共有の場」「孤独を解消する場」としても大事な場所だと思います。

けん は、県内で子ども食堂の活動を行う団体や個人に、「子ども食堂応援 ピデ៵ラセ៵ラリ៵<きク 事業協力金」を支給しています。また、子ども食堂への寄付を調整する「マッ チングコーディネーター」を子ども食堂中間支援団体に配置し、企業からの まか、ことではくどう。やくだ。 寄付を子ども食堂に役立てていただく仕組みを応援しています。







うども 後堂を利用したい・ 実施したい・応援したい



。。ゖゟ。 意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。



だんせいいくきゅう。 しゅとく 男性育休を取得しやすい環境となるために、職場内で育児に関する 講座を設けてはどうか。上司や子を持たない立場の人にも育児に関す る理解をしてもらうことで、より育休を取得しやすくなると思う。また、 いませれるいきないよう配慮してもらう事もできるのではないか。

★ :実現に向けて取り組んでいきます 〈♪:既に取り組んでいます 〉):今後、取組みを考える





既に取り組んでいます



しょくばかんきょう せいび たいせつ けん だんせいじゅうぎょういん いくじきゅうぎょう とうに職場環境を整備することが大切です。県は、男性従業員が育児休業を取れるよ う職場環境を整備した会社に、奨励金を交付しています。また、令和6年度からは、子 がっこうぎょうじ さんか きゅうか しこと いくじ りょうりっ しょくばかんきょう どもの学校行事への参加のための休暇など、仕事と育児を両立できる職場環境を せいび かいしゃ しょうれいきん こうふ 整備した会社にも、奨励金を交付します。

かなテラス(かながわ男女共同参画センター)では、企業等の経営層を対象に、男性 いくじきゅうぎょう りかい しゅとく すす 育児休業への理解と取得が進むようにセミナーを開催しています。

なお、育児休業で休んだ人に、休んだことだけを理由に不当な扱いをすることは、 ほうりつ きんし 法律で禁止されています。

かんれんじょうほう 🤇 <関連情報>

だんじょ 男女ともに什事と育児を両立できる職場環境 の整備を促すため、育児休業を取得しやすい しょくばかんきょう の せいび に を り組み、男性従業員が いくじきゅうぎょう しゅとく 一方 まんきん 育児休業を取得した事業者に、最大50万円の 奨励金を交付しています。





「令和5年度神奈川県第件の音県 きゅうぎょうしゅとくそくしんしょうれいきん ぽしゅう 休業 取得促進奨励金の募集に ついて」 ホームペ



・いけん こで意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。

いただいたご意見



少子化対策に成功したスウェーデンのように、日本でも育児休業手当の給付率を80%にしてはどうか。その際の育休取得日数の条件は、出産後の女性の体が元の状態に戻るまで6~8週間というデータがあるので、最低42日以上取得することを条件とするのがいいと思う。

^{けん かんが かた} **県の 考え方**

★:実現に向けて取り組んでいきます (ア:既に取り組んでいます (人):今後、取組みを考えるための参考にします



こんご とりく かんが さんこう 今後、取組みを考えるための参考にします



育児休業中に収入が減ってしまう事は、予管てに対する不安の一つです。

」はいかは「こども未来戦略」(令和5年12月閣議決定)において、出生後一定期間

ないに両親ともに育児休業を取得する事を条件に、2025年度の実施を目指して育児休業給付を現行67%から80%に引き上げる、としています。子育て中の不安を少しでも解消し、男性も育児休暇を取得しやすくなるよう、県もりき続き、国と意見交換を行っていきます。









↑ いけん ご意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。↓↑

いただいたご意見



育休取得による、職場の人手不足を解消するため、人事異動による 調整や、採用人数の拡大、AIやデジタルを活用した業務内容の効率化、 外部への業務委託が必要だと思う。

_{けん かんが かた} **県の 考え方**

★:実現に向けて取り組んでいきます (ア:既に取り組んでいます (人):今後、取組みを考えるための参考にします



こんご とり く かんが さんこう 今後、取組みを考えるための参考にします



民間の調査結果を見ても、多くの会社で、育児休業取得者の仕事をどのようにカバーするかが課題になっていることが分かります。県では、デジタルの活用で業務を効率化したい会社に、専門家からアドバイスをする支援を実施しています。また、国では、育児休業代替要員等の体制を整備する
会社に対して支援しているので、県は、その制度を周知していきます。

かんれんじょうほう <関連情報>

働き方改革の取組を推進するため、 テレワークの導入を希望する中 い企業等を支援しています。



「テレワークや ICT活用による職場環境整備 支援に取り組む事業者を支援します」 ホームページ



◆ いけん ご意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。↓

いただいたご意見



学校の授業や、産業的で、学育て経験者の話を聞いたり、学育で支援 対策について学べる機会を作ってはどうか。Z世代へのアンケートで約 学数が「将来学どもを欲しくない」「生んでも育てる首信がない」と答え ており、その現状を変えるために、情報を知ってもらうことが大事だと 思う。

けん かんが かた **県の 考え方**

★:実現に向けて取り組んでいきます →:既に取り組んでいます →:今後、取組みを考えるための参考にしま



既に取り組んでいます



子育てに関わってきた方のお話を聞くことで、自身の子育ての参考にしたり、将来の 子育でをイメージでき、子育でに関する不安解消につながると思います。

関内の中学校や高校の中には、子育て支援センターなどと連携して、授業の中で 乳幼児やその保護者とふれ合う時間を設けている学校がありますので、その取組を 周知し、さらに広げていきます。

また、県が運営するウェブサイト「パパノミカタ」では、子育てに関する基礎知識など、 こそだ しょしんしゃ ちちがや 子育て初心者の父親の「ミカタ」となる情報を提供しています。







「パパノミカタ」ウェブサイト



↑ ご意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。」

いただいたご意見



第2字以降への経済支援のために、岩川県が実施している「プレミアム・パスポート事業」のような取組みをしてはどうか。岩川県の制度は、第2字、第3字と字どもの数が増える事で協賛活からの買い物時に割引が受けられる。「字どもが苦手」と思っている人への対策より、「字管てしたい」と思っている人に、できるだけ多くの字どもを産んでもらう対策を考える事で、出生率が上がるのではないかと思う。

けん かんが かた <mark>県の 考え方</mark>

★:実現に向けて取り組んでいきます (ア:既に取り組んでいます (人):今後、取組みを考えるための参考にします

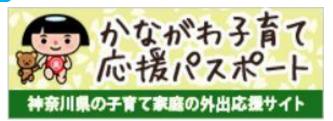


既に取り組んでいます



はんしいかわけん 県でも石川県の「プレミアム・パスポート事業」と似ている制度で、第一子から支援を う 受ける事ができる「かながわ子育て応援パスポート」を実施しています。妊娠中の かた 方や、お子さんのいるご家庭は、パスポート登録をすると、県内の協力施設から さまざま 様々なサービスを受けることができます。これからも子育てを地域全体で応援して

かんれんじょうほう
<関連情報>



いく社会となるよう取り組んでいきます。



「かながわ子育て応援パスポート」 ウェブサイト



◆ いけん ご意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。」

いただいたご意見



Z世代の18%が「仕事と育児の満立に不安を懲じている」というデータがあり、企業主導型の保育所を増やしてはどうか。仕事の合間に予どもの様子をチェックできる、仕事スペースと保育園スペースが区切られた建物になっていて、職場から離れた保育所への送迎を資担に懲じる保護者への支援となる。

けん かんが かた **県の 考え方**



こんご とりく かんが さんこう 今後、取組みを考えるための参考にします



ご提案の「企業主導型の保育所」としては、「事業所内保育事業」があり、実施するためには市町村の認可が必要です。

「事業所内保育事業」は、その企業で働く従業員の子どもなどを受け入れて おり、子どもを持つ従業員の子育ての負担を軽くしています。

県は、国や市町村とともに、「事業所内保育事業」の運営費を補助しており、今 では、国と市町村とともに、「事業所内保育事業」の運営費を補助しており、今 では、国と市町村と連携してしっかり支援していきます。



かていちょう こ こそだ し えん しん せいど とう 【こども家庭庁 子ども・子育て支援新制度等HP】

https://www.cfa.go.jp/policies/kokoseido/sukusuku#chiikihoiku





・ ご意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。

いただいたご意見



YouTube や Instagram に広告を描すのはどうか。内容は、行政が提供している子育で支援サービスの説明や、かわいい赤ちゃんの動画である。子育で支援策を若者に周知してもらう事で、出産や子育でに対する不安を取り除く効果がある。また、赤ちゃんの動画は、電車などで泣いている赤ちゃんを見てネガティブなイメージを持っている人に、少しでもプラスの考えになってもらう狙いである。広告の資金源は、育児開品メーカー等から提供してもらうといいと思う。

_{けん かんが かた} **県の 考え方** ★:実現に向けて取り組んでいきます (ア: 既に取り組んでいます (人): 今後、取組みを考えるための参考にします



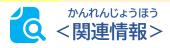
既に取り組んでいます



これから子どもを生み管てる若い世代に向けて、Youtube等の SNS を使って、出産や子管てへの不安を取り除くことはプラスに働くと思います。

関では、子育てを応援する社会をつくるため「こどもまんなかプロジェクト」を 進めており、関内市町村の「こどもまんなか」の取組について Youtube や X、 Facebook などを通じて広報を行いました。

今後は、自治体だけではなく、民間企業等の取組についても紹介していきたい と考えています。





かながわこどもまんなかプロジェクトウェブサイト





↑ いけん ご意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。」

いただいたご意見



子育てに関わってきた人達による講演を行うのはどうか。現在子育で中の人、既に子育でが終わった人、仕事と育児の両立をしている人等、多種多様に子育でに関わった人の話を聞くことで、子育で支援策を知る機会となる。子育でに不安を感じている人のハードルを下げたい。

けん かんが かた <mark>県の 考え方</mark>

★:実現に向けて取り組んでいきます (ア:既に取り組んでいます (人):今後、取組みを考えるための参考にします



既に取り組んでいます



子育てに関わってきた方のお話を聞くことで、自身の子育ての参考にしたり、将来の子育てをイメージでき、子育てに関する不安解消につながると思います。

関が運営するウェブサイト「パパノミカタ」では、育児をするパパ同士のオンライン座談会を開催、また「パパノミカタ」に記事として掲載することで、たくさんの方に育児のリアルや工夫をお伝えしています。







「パパノミカタ」ウェブサイト



◆ いけん ご意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。↓

いただいたご意見



「くるみん認定」の認知度を上げて、企業に認定を自指してもらう取組みをしてはどうか。子育てサポート企業として厚生労働大臣の認定を受けた証であるが、認定済企業は、国内で数千社しかないとの事。企業にとってもイメージアップに繋がる為、良い取組みだと思う。

_{けん かんが かた} **県の 考え方**

★:実現に向けて取り組んでいきます →:既に取り組んでいます →:今後、取組みを考えるための参考にしま



既に取り組んでいます



神奈川県独自の制度として、仕事と予育ての満立に関する取組について、一定の要件を満たした事業者を認証し、事業者の情報や、取組の内容について意識した認証登録簿をホームページで公開しており、くるみん認定の取得の有無についても、登録簿から確認できます。

ります。 引き続き、仕事と子育ての両立に向けた環境整備のため、関連制度の周知を 進めていきます。



こそだ し えん と く じ ぎょうしゃ にんしょうせいど 「子育て支援に取り組む事業者の認証制度について」 https://www.pref.kanagawa.jp/docs/sy8/cnt/f6585/







↑ こまた ご意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。↓

いただいたご意見



岩川県の地震では、被災地で生理用品に対する男性の理解力が低くて 園っていると X(間 Twitter)で見た。安性への理解がないと、安性が 過ごしやすい社会がつくりづらいと思う。

th かんが かた **県の 考え方**

★:実現に向けて取り組んでいきます (ア: 既に取り組んでいます (人): 今後、取組みを考えるための参考にします



既に取り組んでいます



地震などの災害時には、女性と男性では、被害による影響や、必要になることが違うことを理解し、気を配ることが必要です。そこで県では、災害に備える 防災分野への女性の参加を促したり、男女共同参画の視点で研修を充実することなどに取り組んでいます。今後も、日頃からあらゆる分野で男女共同参画の理解が進み、すべての人が個性と力を発揮できる社会となるよう、取り組んでいきます。







● 県の男女共同参画の考えについて 「かながわ男女共同参画推進プラン(第5次)」



↑ いけん ご意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。」

いただいたご意見



子ども支援団体同士の交流の場を設けてくれると嬉しい。お互いの 協力について直接話ができるので、新しい取組みが生まれるきっか けづくりとなると思う。交流する事で、元気がでる。

けん かんが かた **県の 考え方**

★:実現に向けて取り組んでいきます (ア): 無に取り組んでいます (人): 今後、取組みを考えるため



既に取り組んでいます

-

ことも支援団体同士の交流により活動が活発になる、というのはその通りだと思います。

覚では、地域で子ども支援活動を実践している方、してみたい方などを対象に、 交流会や研修会を開催し、それぞれの団体による活動報告や、子どもの支援を取り巻く課題についての意見交換等を行っています。今後もこのような機会を作り、 地域の子育て支援の輪が広がっていくような取組みを実施していきます。

かんれんじょうほう <関連情報>

※ 令和5年度は、「字ども支援研修会」を開催しました。 地域における、字どもたちへの支援の輪を広げ、支援に 関わるがでの顔の見える関係づくりを後押しするため、 資田家庭と字どもの現状、字どもの居場所の効果等に ついて考えました。



<神奈川県公式ウェブサイト> かながわ子どものみらい応援団セミナー・イベント情報



↑ いけん ご意見をいただきありがとうございます。ご意見に対する、神奈川県の考えは次のとおりです。↓↑

いただいたご意見



定期的な発行物等で、(自分たちのような)子ども支援団体の活動を取り上げてもらうとありがたい。他の団体の活動の様子を知らない事が多い。また、県が名前を取り上げてくれる事で団体としても活動がしやすくなる。

_{けん かんが かた} **県の 考え方**

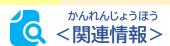
★:実現に向けて取り組んでいきます (ア:既に取り組んでいます (人):今後、取組みを考えるための参考にします



既に取り組んでいます



関は、かながわ全体で子ども・子育て支援を進めていくため、子ども・子育て支援に取り組み、地域に貢献している事業者や個人・団体の皆様を「かながわ・ 支援に取り組み、地域に貢献している事業者や個人・団体の皆様を「かながわ・ こそだって支援大賞」として表彰しています。また、県内の子育て支援団体を探す ことができるポータルサイトとして「さぽなびかながわ」を開設しています。これ らのサイトを通じて、子ども・子育てを支援する皆さんを応援していきます。





かながわ 子ども・子育て支援大賞





